

# 第 78 号

発行所 〒157-8560  
東京都世田谷区成城1-13-1  
東京都市大学附属中学校・高等学校内  
電話 03-3415-0104  
発行責任者 川 鍋 勝 弘  
編集責任者 大 高 慧 史



東京都市大学附属中学校・高等学校〈同窓会ホームページ〉  
<http://tcu-kasiwa.org/>



## 2025年5月24日に同窓会懇親会を開催

今回の懇親会では、21期、38期の同期会が行われ、招待した恩師を含めて総勢約70名の方々が旧交を温めました。なお、この懇親会とは別に71期生が企画した成人を祝う会を2026年1月11日に開催しました。この様子は次号でお伝えします。



### 21期同期会で思ったこと

21期同期会 幹事 横井 敏勝

2年間の準備を経て、21期同期会を無事開催する事ができました。

CDショップ、整形外科医院、ライオンズクラブ、歯科医院、盆栽協会、酒造会社、保険代理店、剣道部、将棋部、趣味の仲間、物理部、鯨部などの御協力に改めて感謝いたします。

同期生254名の内、参加者23名、欠席者44名、開催案内が宛先不明で戻った者97名、届いたが返信がない者79名、会いたくても会えない者11名と

いう結果になりました。

七転八倒の同期生探しの様子は、むさこう・としこう同窓会HPのブログをご覧ください。

当日は、開催時間内では収まりきれないほど話題が盛り上がり、2次会で深夜まで卒業からの51年を語り合いました。

その語り合った中で在校生、先生方、卒業生に伝えたいことも話題になりました。それは、

1. 物事を研究する場合、研究の手法は分野ごとに全く異なっていることを知って欲しい。

例えば「安全」とは、鉄道系では「停止」させることで、航空系では「稼働」し続けることであるように、同じ「安全」でも正反対の取り組み



2025年5月24日  
当日、受付担当の私は少し早く会場に行き準備をしておりましたが、しばらくして定刻になりますと、昔懐かしい顔ぶれがたくさん現れました。

恐らく、私どもの年齢になりますと会社の中でそれなりの立場(地位)になっている人が多いと思いますが、会った瞬間にタイムスリップし、学生時代のあだ名で言い合っただけで同等の立場にたってふざけ合い、昔話や現在の話が出来る関係って学生時代の友達だけだとしみじみ感じました。

「友達は一生の宝物」まさにその通りだと思います。



今回、同期会のお話をいただいた事、参加させていただいた事に大変感謝しております。

最後になりますが、お忙しい中お時間を作っていただきました先生方、大変ありがとうございました。



↑キャリアスタディ  
委員長挨拶



↑乾杯(鈴木理事)



同窓会員  
先生  
同窓会理事



## 同窓会について

### 定期的に行っている同窓会の活動

1. 総会・懇親会を毎年5月に行います。
2. 理事会を年6回開催します。
3. 同窓会報「柏」を年1回発行します。(ホームページにも掲載)
4. 母校の「柏苑祭」に参加します。
5. 母校の「キャリアスタディ」に協力します。
6. 同窓会会員の勉強会を開催します。
7. 在籍生活活動支援として、臨時に必要な経費の援助を行います。
8. 学校との連絡会を実施します。
9. 保護者会との懇談を実施します。

### キャリアスタディへのご協力をお願い

同窓会では、2009年度から中学3年生対象のキャリアスタディに協力しています。

中学3年生に「今までと、今の自分を見つめ、将来の職業や進学に目を向けてもらいたい」と考え、1年間のプログラムが組まれています。これは「将来の職業を決めること」が目的ではありません。そもそも職業選択とはそんなに単純なものでは、ありませんから。それでも少しずつ具体的な行動に移していく、そんなプログラムです。

今後も同様に活動を続けていくために、活動に協力していただける同窓会会員を随時募集しています。

これまでに協力いただいた同窓生からは『自分の子供だとなんとなく照れくさいが、後輩だと結構話ができる。』等、ご好評をいただいております。

さらに、協力企業(団体)からも、引き続き協力したいとの嬉しい回答をいただいております。

皆様の積極的な応募をお願いいたします。

### 2026年度同窓会総会・懇親会のご案内

総会：日時：2026年5月9日(土曜日)10時～10時30分

場所：Web開催

懇親会：日時：2026年5月23日(土曜日)16時30分～(有料)

場所：渋谷エクセル東急ホテル 東京都渋谷区道玄坂1-12-2(渋谷マークシティ内)

同窓会会員 [1. 正会員：(1) 東京都市大学(旧武蔵工業大学)附属中学校・高等学校の卒業生で入会を意思表示した者 (2) 同校に在学した者で本会の趣旨に賛同するもの 2. 賛助員：(1) 東京都市大学(旧武蔵工業大学)附属中学校・高等学校の現旧教職員 (2) 本会の趣旨に賛同し理事会の承認を得た者(同窓会規約より)] の皆様はお誘い合わせの上ご参加下さい。

懇親会には現職の先生方及び退職した先生方にもご参加いただきますので、交流や情報交換の場としてご活用ください。

事前申し込みなしでもご参加いただけます。

# キャリアスタディ 2025

## 業あり先生

2025年6月21日

このプログラムは、社会で活躍する人生の先輩方による講演会です。

キャリアスタディの目的である「社会人とは」、「仕事とは」、「仕事に就くまでの間に何を学んでおく必要があるか」などを中心に、生徒達へメッセージを伝えます。講演終了後、学んだ事や感じた事をまとめた生徒達の感想シートは講師へフィードバックされ、多くの生徒が講義の内容をしっかりと受け止める高い聴く力や、気持ちのこもった言葉で感想を表せるアウトプット力を備えている事に驚かされました。この様なフィードバックを受けるプロセスによって、講演者にとっても更なるモチベーションの向上に繋がり、運営に関わっている同窓会にとっても本活動の意義を再確認する良い機会となっております。

### 立野 慶 先生

(33期生)

医療法人社団ユニメディコ  
理事長  
医療法人社団マイスター  
理事



**演題：本当の医療現場とは？在宅医療における多職種連携を中心に！**

#### 《生徒の感想》

- 人間力というものは、人にやさしくすること、善い人になる、女性を知ることだということを知って、自分の行いを客観的にみる能力や、今の気持ちを考えて行動できる能力を見つけられるようにしたいと思った。とても面白くて、ためになったと思う。
- 私は、今まであまり医療に興味を持つことがありませんでした。しかし、12月に入院して手術をし

てから医者のかっこよさに気づきました。医者は命にかかわるとてもリスクの高い仕事で環あるが、それ以上の達成感と感謝があり、とても誇らしい仕事だと思います。将来何になるか分からないですが、やりがいのある仕事に就きたいと思いました。

●医療は病気を治すことだけでなく、患者さんの生き方にどう寄り添うかだと伺い、人間力が大事だということに気づけました。これからは勉強だけでなく、体力をつけるためによく食べ、寝て、運動をしていながら、人間力(特に女性との会話力)を鍛えようと思います。この度は僕たちのために講演を下さりありがとうございました。

●医療ドラマや受診などでしか関わりのない病院や医師、医療の仕組みや体系を知ることができた。また医師や人としてどうすれば上手に過ごせるかなどの方法を後輩として学ぶことができた。もともと医師は大変な職業だとばかり思っていたが興味があ

### 久野 新一 先生

(13期生)

株式会社ウラノス  
株式会社パシフィック・ア  
セット・マネージメント  
代表取締役



**演題：ビジネスって何だろう。会社を作って何をする？**

#### 《生徒の感想》

- 久野新一先生の話聞いて、知識が私たちにとても大事だと分かりました。知識は、新しいビジネスを作り上げるのに大いに役立つ上に、判断する材料になるからです。また、将来、世の中をみて、世の中の変わり目で次に来るものは何か予想することも大事だと分かりました。そのために勉強をすることで知識を取り込んでいこうと思いました。
- 社会に出たら今まで学んでいたことすべて使えるし、語彙力がとても重要だということが分かった。特に英語ができるかできないかがすごく鍵を握ることが分かった。あと世界の中では日本はとても遅れているとわかったので世界のニュースに目を向けていきたいと思った。
- 今回の技あり先生で「世の中の見極め」という言葉が一番印象に残りました。世の中の流行は時代の変化によってすぐ変わっていきます。そのため、久野先生が行った、既存のものと既存のものを融合させて新しいものを作るという発想や、まだ誰もやっていないことをすることが必要だと感じました。

他にも、専門分野を勉強することによって世界と戦うことができるということを知り、今から少しずつ好きな分野や興味のある分野に触れていきたいと思いました。今後、ビジネスについて考える機会があったら今回のことを軸にして考えていきたいです。

●身近に経営者のような立場の人がいないのでこれまで知らないような視点や考え方を学ぶことができたのが嬉しかったです。先生が何度もおっしゃっていた60年で世界は大きく変わるという言葉がすごく重く感じました。自分のキャラクターを生かし世の中を先読みして生きるということは難しそうですがまた面白くもありそうだと思います。お金についての考え方も新鮮でとても面白かったです。

## 宇田川 晴義 先生

(9期生)

東洋大学  
名誉教授(評議員)



**演題：本当にしたい仕事は：周囲の人を  
幸せにする夢と理想を持とう**

### 《生徒の感想》

●先生は学生時代は英語が得意じゃなかったけれど、留学などの専門的なことをして英語をマスターしてそこからいろんな仕事につなげていったことを例にして、一つ一つの課題をクリアしていくことで大きな目標の達成につなげることができることを教えてくれたので、自分も小さな課題をこなして自分が目指すべき場所を見つけて、進んでいきたいと思いました。

●先生の本当の幸せは人に必要とされることという言葉が心に残りました。僕はまだ夢がなく、見つけるのも難しいと感じています。でもその言葉は働くということの本質がある感じがしてすごく感動しました。将来僕がどこで働くことになるかまだわかりませんが、この言葉を忘れずに生きて行こうと思います。

●宇田川先生の話聞いて、感じたことは二つあります。一つ目は人生の目標を立てるということです。これからの人生を歩んでいくうえで、人生の目標を立てることはとても重要だと感じました。また、人生の目標を立てるためには自分を知り、夢や希望を抱き、小さな目標から始めることが大切だと教えてもらいました。二つ目は、人や本との出会いを大切

にすることです。人と人が出会うのはなにかしらの縁があったからだと先生は教えてくれました。また、その縁を大切にすることが重要だと教えてくれました。そのため、自分も人との出会いを大切にしようと感じました。

●宇田川先生の話聞いて、改めて、自分の将来について真剣に考えさせられました。僕は、まだ中学生だから、将来のことについて考えるのは早いと考えていましたが、中学・高校時代は、自分のしたい事について考えたり、将来の夢を育てるといった大切な時期であることを再認識しました。また、将来のために、色々と経験することも大切だと学びました。特に英語は、宇田川先生の話聞いて、今のうちにしっかりと学習しておくことの重要性がわかりました。講演で、英語学習のポイントについて紹介して下さったので、これからの学習で生かそうと思います。今回のことをきっかけに僕の将来の夢を明確化するために、マンダラチャートの完成や将来の自分の理想像を思い描くことから始めようと思います。特に胸に残ったのは、「人生は楽しいことや大変なこと、変えられるものと変えられないものがある。それには、冷静さと勇気が必要であり、何事も怖がらずに引き受け、引き受けた後には、良いことがあると信じる」という言葉です。僕は、将来の夢や目標があっても不安になってしまったり、諦めてしまうこともあるかもしれませんが、この言葉を大切に、何事も前向きに考えて、理想の自分になれるようにしていこうと思います。

## 桃沢 愛 先生

東京都市大学  
理工学部医用工学科  
准教授



**演題：「キャリアを作る」とは：目まぐるしく  
変化する社会で活躍していく  
ために**

### 《生徒の感想》

●今の最先端の職業について教えてもらい、とても新鮮でした。その職業の話だけではなく、僕たちの未来にもつながるような幅広い話をしてくれました。例えば、「ゴールを目指すのではなく、プロセスを楽しむ」という言葉に関しては、僕たち学生にも刺さる言葉だと思います。僕たちのゴールは大学受験かもしれませんが、ただ勉強するだけでなく雑学なども取り込みつつ勉強すると、楽しく学ぶことがで

きると思えました。勉強するかどうかではなく、どう勉強すればよいのかを教えてくれる良い時間でした。

●将来何かになるのはゴールではなく、その先にどうするかを決める道筋であると知った。また、キャリアを作るのは社会人になってからではなく、大学での研究や過ごし方で作られていくのだと分かった。「キャリアを作る」ためにさまざまな経験をする際に大学でも研究だけではなく、海外インターシップもあるのだと感じた。

●自分は今まで、将来について高校生のうちに決めてそこまで一直線で行くものだと思っていたのですが、そんなにうまく行くことは少なく、紆余曲折を経て結果的に昔思い描いていたところと離れたところに行くこともあるということを知りました。また、仕事をする際、自分の持っているスキルはどのようにすれば社会に活かすことができるのかをよく考えることもとても重要であり、働くことの楽しさであるということがわかりました。

●僕は自分の将来について、大学に行って卒業して就職するという流れでしか考えたことがありませんでした。しかし、実際に大学に入って何をするのか、キャリアとは何なのかについて深く考えたことがなかったので、今回、桃沢先生のお話を聞いて、自分の考える将来の幅が広がったと思えました。特に、僕は自分の将来を考えると、自分の目標とする一点を決めようとするのですが、桃沢先生の「ゴールを目指すのではなく、プロセスを楽しむ。」という考え方に衝撃を受けました。

## 芝端 康二 先生

(17期生)

神奈川工科大学 特任教授



演題：「世界初に至る路」ラジコン飛行機から始まったエンジニア人生

### 《生徒の感想》

●ぼくには将来の夢がありませんでした。しかし芝端先生の話聞き、何かのものを作るという職業に就きたいと思えました。また、先生の学生時代のプライベートの話などに、自分との共通点がたくさんあり、話に共感しながら楽しく話を聞くことができました。そしてラジコンや、航空機、4輪車のどのこれまでは関心がなかった機体の対しても興味がわ

くようになりました。車のいろいろな会社の動向という話がとても興味深かったです。

●世界で初めての技術を作ることの大変さを知ると共に、その技術を生み出す発想力や技術力などが物事を成功させるために必要だと学ぶことができた。自分も将来色々な人に便利だと思ってもらえる物を作れるようになりたいと思えました。

●30年前によく読んでいたものを、執筆したり解説したりするところを聞くと、何十年という長い期間、自分は先生のように一つのことに没頭し続けることができるのだろうかと思い、凄みを感じた。しかも、世界初のシステムを考案して、商品化までする、その独創性に尊敬した。

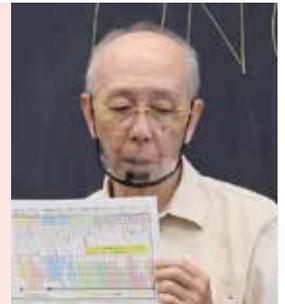
●自分とはなかなか縁のなさそうな話題だと最初は思っていたものの、先生のお話を聞いてみると私たちが身近で使っている車の4輪操舵機構を開発されたと聞いてびっくりした。世界初のものを生み出すのは独創性に長けている人たちだからだと感じた。

## 蒲生 政和 先生

(22期生)

グレイス・ビズキャリア・アンカーズ 代表

(キャリアコンサルタント・キャリアデザイン講師・ICTシステムアドバイザー)



演題：システムエンジニアって何？

### 《生徒の感想》

●具体的な経験談などがあり、とても分かりやすかったです。システムエンジニアの研究は昔からどんどん進化をしていて、人々のために使いやすいように小さくなっていることに驚きを感じました。先生がおっしゃっていた通り、目標を立てることが大事だと思えました。目標をたててそれに向かって進むことは楽しそうなので、これを期に目標をたてて、それに向かいたいと思えました。システムエンジニアは作るまえに顧客の対応も難しそうなので様々な力が試される仕事だと思えました。

●システムエンジニアという仕事に関わらず（分け合って、そして協力し合うことで一人の力の何百倍にもなる）という言葉が心に残りました。また作業工程というものはどんな仕事にもつきものであることも教えていただき、勉強になりました。

●先生の話聞いてプログラマーのすごさもわかったし、システム開発の手順などを知ったけどそれ以上にチームの大切さ、経験の重要さなどシステムエ

エンジニアのヒトヒトだけにとどまらないようなみなに伝えるようなことを教えてもらって、とてもありがたかったです。

●興味あることにチャレンジできない自分の気持ちをやる気にさせてくれた。システムエンジニアにはそれぞれの作業過程に分かれていて幅広いということを知り、自分の足りないものを挙げて改善していきたいと思いました。いろいろな人が合わさって一つのものを作っていくということも知れて、何事もチームなんだなと思いました。また、システムエンジニアになるためには英語のシャドーイングなどを通して読めるようになる必要があるということを知り、英検2級を早く取りたいと思うようになりました。ぼくは、プログラミングをやっていてシステムエンジニアに興味があったのでとてもためになりました。来てくださりありがとうございました。

## 飯塚 悟 先生

(35期生)

株式会社プラズマ 代表取締役  
一般社団法人沖繩 STEM 教育  
センター 理事  
プラズマテクノロジー 代表理事



**演題：アウェーを楽しみ、己(おのれ)を研ぎ澄ませ～他と同じであること、安全安心世界に居続けることのリスク～**

### 《生徒の感想》

●最初の自己紹介で世界を歩き回ったとお話しされており、外界を目指せ、旅をしろ、挑戦せよということばに重みを感じました。また旅をすることにより異なる文化に触れ価値観が増えたり、経験もできるため旅をしてみたいと思いました。またメルカリやアプリ開発などの行動を起こすことの重要性を知り行動を起こすべきだと考えました。

●自分は今、好きなことや、やりたいことがなく休みの日もただらしているような生活をしているので、まずは自分の好きなことや将来につながるやりたいことを見つけてそれを頑張りたい。まだ自分でお金を稼いでそのお金でなにかをしたことが無かったので今からお金の稼ぎ方を考えてそれを休みの日などにやってみて将来につながるようにしたい。

●今日の先生のお話を聞いて、自ら、道を拓いていくということが大切だと感じました。今まで、自分は、中学受験をして、高校に上がって、いい大学に行き、いい企業に行くというありきたりな人生を送れたらいいなと思っていました。でも、今日のお話を聞いて、自分が今まで思っていたような人生は

面白くないと感じました。そして、まだ中三なので、自ら新しいことに、自分の力で挑戦して、経験値の高い強い大人になりたいと思いました。

●親に電車のこと調べすぎといわれていたが、先生の話聞いて少しは言い返してみようかなと思いました。普段の日曜日でもどこかしら出かけたいです。そのお金は風呂洗いや食器洗いの小遣いで出そうと思いました。

## 吉川 莉奈 先生

一般社団法人フェアリー  
エンタテインメント  
代表理事



**演題：“あなた”が解決する社会課題のヒントが見つかる！社会起業家セミナー**

### 《生徒の感想》

●とても大きなプロジェクトを掲げている方の話を聞いて自分の将来の役に立てられると思った。また自分の好きな趣味やスポーツを社会問題の解決に結びつけるというアイデアに関心を持った。そうした吉川先生の話聞いて将来を考えられたことが楽しかったです。ありがとうございました。

●まず、起業家と社会起業家には大きな違いがあることを知れました。起業家は利益を上げて会社を成功させる職で社会起業家はビジネスを通じて社会的な問題を解決する職だということを知ることができました。そして、社長はお悩み解決屋さんであるということがわかりました。また、物事をポジティブにとらえて新しい道を切り開くことが大切だと知りました。

●今回の講演で僕が学んだことは、自分を知ることが大切であるということです。例えば今回の作業で、自分の趣味などを書き並べ、同時に興味のある社会問題も書いて、どれとどれが合いそうかを考えました。そこでは、絶対に合わなそうな組み合わせでも、意外な所につながることがあり、こういうのが社会起業家という職業で大事なのだと実感しました。この講演を通して自分の将来を考えることができました。

●福祉とエンターテインメントという関わりのなさそうなものを掛け合わせると僕には絶対思いつかないだろうという考えにとっても驚きました。僕も起業する機会などがあればやってみたいと思いました。

## 青木 悠祐 先生

沼津工業高等専門学校  
電子制御工学科 准教授



演題：誰かのためのロボットを創る  
～ものづくりに大切なこと～

### 《生徒の感想》

- ロボットの面白い所や興味深い内容について知ることができてとても学ぶことが多い授業だったと感じました。ロボットについてだけでなくその道に進むきっかけや考え方についても教えてくれて、とても興味深くて考え方が少し変わりました。これから進むべき道についても考えるきっかけになりました。とても分かりやすく面白い話が聞けてとてもうれしかったです。
- 自分はロボットや機械には詳しくなく苦手なほうだったが、今回の青木さんのお話を聞いて興味がわきました。ロボット作りは自分が頑張って作った成果を実際に結果としてみることができ、達成感を感じることができて素敵だと思いました。また使う人のニーズ、シーズ、ウォンツを考えながら知識と発想からロボットを作ることはすごいなと思いました。またスマホでポップコーンができるのか？の例で知識は中途半端に持っているのだまされてしまうということを知り、自分でも何かわからないことがあったときとかは中途半端に理解するのではなく疑問を大切にしてお話を深く理解できるようにしたいです。貴重なお話ありがとうございました。
- 普段勉強していると、あまり興味のない分野の勉強をしている意味がわからなくなることがあったが今回のお話を聞いて、自分がこれからしている仕事で、色々な分野の知識があった方がいろんな発想に繋がりやすいということを知り、苦手な科目にも取り組んでいきやすくなり、ロボットの最先端技術も学べてとても楽しかったです。
- ものづくりでは、知識・発想や「なぜだろう？」と考えることが大切。携帯でポップコーンをはじけさせる話では、知識の偏重に関して面白く学べた。今、ロボットやAIがどれだけ進化していて、これからどんな時代に向かっていくのかについて、先生の研究内容やSociety 5.0、シンギュラリティの話などで知ることができた。さらに、モラベックのパラドックスについては、初めて耳にしたかつロボットの意外な一面を見ることができた。また、先生含

め研究者たちの仕事内容、行動の原動力を知れて、研究者という仕事に惹かれた。

## 谷田 充明 先生

協和監査法人 公認会計士



演題：“企業のお医者さん”公認会計士の  
仕事

### 《生徒の感想》

- 公認会計士は一流企業を見ることができ、若いうちから稼げる、まとまった休みがとりやすいなどの利点があり、仕事内容も大変そうだが、面白そうだったのでなってみたいと思います。でも公認会計士になるためには、若いうちから難しい試験の勉強をしないといけないので、頑張らないといけないし、業務、補助、補習をやるので頑張りたいと思います。
- 谷田先生のお話をきいて、公認会計士は様々な企業と深く関わることができて、魅力も多い職業だと分かり、目指してみたいと思った。また、公認会計士になるためには、多大な努力と難しい試験を乗り越えなければならないため、大学に入ったらコツコツと努力を怠らずに積み重ねていきたいと思った。
- 普段あまり触れることのできない公認会計士という仕事に触れることができてとてもよかった。また、公認会計士には監査、コンサルティング、税務など公認会計士だけで様々な業種で働いている人がいると分かった。僕はまだ夢を決めていないので、今後のキャリアや、今回の技あり先生などをもとに夢を決めたい。
- 今まであまり詳しく知らなかった公認会計士という仕事について深く知れてとても楽しかったです。また、試験に合格する人の大半が大学生ということに驚きもしました。自分ももし大学生の時に公認会計士になってみたくなったらチャレンジしてみようと思います。貴重なお時間をありがとうございました。



## 高橋 咲恵 先生

防衛省 航空幕僚監部 人事  
教育部 募集・援護課 企画  
班総括



演題：今の“学び”は、将来への架け橋

### 《生徒の感想》

- 自衛隊は戦争をしたり訓練をしたりするだけの組織だと思っていたが、本当は学校の先生や気象予報士をしたりいろんな仕事を行うという事実を知り、自衛隊に対するイメージが変わりました。僕は今自分のやっている勉強にあまり意味を感じていませんが、先生は知識が直接役立つことは少ないけれど小学生のころから勉強を続けるということに意味があり、その継続力や自己管理能力が役立つと言っていたのでこれからも頑張ろうと思いました。
- 高橋先生の話聞いて、特に思ったことが2つある。  
一つ目は、後悔のないように勉強に努め、「どのように学ぶか」を意識することだ。先生によると90%以上の方が後悔をしており、「何を学ぶか」に目が入ってしまっている。上記のことに気をつけ、高橋先生のように事情で辛い状況下であっても努力できる人間になりたいと思った。二つ目は、選択をする際に「これならいいかな」と思える相手を見つけることだ。すぐに諦めてしまうという癖が僕にはあるので、事前によく調べて後悔しないような選択をしたい。
- 自分は正直不器用な自分に医者に向いてるのか不安になっていたが仕事と不得意得意はまったく別物と言ってくれて少しうれしかった。またもの前の幸せに対して本当に感謝し当たり前と思わずかみしめることの大切さを学んだ。自分の人生を自ら道を開いていきたいと思った。
- 自分は何のために勉強しているのだろうか、と感じてしまうこともあったが、今回先生のお話を聞いて、その答えがわかりました。また、学力が直接仕事につながるわけではなく、人間力も必要であり、ただ勉強だけをすればいいわけではないのだ、ということの重要さもわかりました。また、先生の「どんな道も素晴らしい」という言葉を受け、今後はもっと前向きに歩んでいこうと思えました。

## 坂田 奈央美 先生

トミーデジタルバイオロジー  
株式会社 フィールドアプリ  
ケーションスペシャリスト



演題：「世界とつながる!? 研究者とつながる!?」 商社のお仕事

### 《生徒の感想》

- はじめに、浪人を経験することで将来の選択をする時間が増えたとおっしゃっていて、社会に出るのが遅れることをマイナスに受け止めていないことに驚いた。また、その後の大学生活では仲間と共に世界一周を経験することで実際に世界を自分の目で見て確かめることの重要性に気付かされた。商社のお仕事では外国が取引先となる中で堂々とした態度で商談に臨むなどの話が興味深かった。
- 先生の幸せ度グラフでは、上り下りが激しかったが、全体的に上がっていた。そのため、今はつらくても何かを頑張るといことは大事なんだと気づいた。また、世界一周の旅行に行くという小さいころの夢を達成するために長い間お金を貯めたというのはすごいことだと思った。他には、仕事をするうえで、英語で話すというのはすごいと思ったし、なめられないように堂々と話すことを意識しているのはすごかった。
- 私は今回の「業あり先生」で2つのことを学びました。1つ目は世界を相手にすることです。日本は世界のほんの一部でしかありません。そのため、世界を相手にすることで、自分のものの捉え方が変わっていくと感じ、世界を相手にするべきだと思いました。2つ目は学ぶことを楽しむことです。「人生は常に学びだから、学びもたのしんでやるべき。」という坂田先生の言葉がありました。そこで勉強も楽しんでやることで、勉強した内容の理解が深まるとともに、知っていることも増えて人生が楽しくなると思い、学ぶことを楽しむべきだと思いました。今回の「業あり先生」で先生の話に興味を持ったので、もっと商社のお仕事について聞きたいと思いました。
- 坂田さんのお話を聞いて、自分にもまだやりたいことがなくて困っているのですが、何をしたら人の役に立てるかを考えてみようと思いました。また、英語や数学を中心に勉強するのは大事ですが勉強だけでなく日々の日常生活も大切だと思いました。僕は勉強でも勉強以外でも長期計画を

立て、目標を決めて取り組んでいこうと思います。自分が興味を持ったものにはインターネットを使って見るのではなく、自分の足でその場所、物を見に行ってみようと思いました。

## 酒井 由紀子 先生

株式会社リエゾン・デートル  
代表取締役



演題：「世界ビトになろう！」劣等生から世界ビトへ。世界に通用する力をどのように身につけるか、一緒に考えてみよう。

### 《生徒の感想》

- お忙しい中お時間いただきありがとうございます。酒井先生の国際社会に関する先生のお話は、帰国性の僕にとってとても共感でき、刺激のあるものでした。また、先生のお話で僕の将来の可能性も広がった気がしました。
- マレーシアに行くためこの講座を選んだわけですが、そのマレーシアに行くのが不安になってきました。しかし、先生の話を知ると一番最初の目的であった「外国の方々」と関わるということ思い出し、小さいことを気にせず、勇気を出して飛び込んでみようと思いました。
- 最初は海外進出などに興味はなく英語も得意で武器ではないと思っていたが酒井さんが最初はあまり英語は得意じゃないとおっしゃっていたので今の実力はあまり関係ないんだなと思いました。これからはできるだけ海外の人たちとコミュニケーションをとったりして海外進出して世界の役に立ちたいです。ありがとうございました。
- 「何があっても不幸と決めつけない」ということがとても心に残りました。僕はあまりポジティブな考え方ができないので、前向きになることの大切さがとてもよく理解できたからです。また、「国や立場が違うと考え方も異なる」ということは今の僕にとっても重要なことだと思いました。僕は今部活の部長をやっているため、独断的な考え方をしないで部員と接することが大事であると改めて考えました。



# キャリアスタディ 2025

## 企業研修

2025年8月実施

キャリアスタディ最大のプログラムです。この企画は、生徒達が同窓生引率のもと実際の企業や団体へ訪問し、目で見て、体で感じて勉強するものです。ただ、興味のある企業に行き、楽しそう、つらそう、というのではなく、「社会人とはどのようなものか」「どういうことが仕事になるのか」「社会に出るまでにどういうことを経験しなければいけないのか」などの様々なことを学んできてもらいます。

この企画にご理解とご賛同をいただきました生徒達の研修を受け入れていただきました企業様・団体様、またコーディネーターとして生徒達を引率していただきました同窓生の皆様には感謝申し上げます。ありがとうございました。

### 2025年度キャリアスタディ企業研修を受け入れていただいた35の企業様、団体様

株式会社ハイパーサイクルシステムズ  
一般社団法人共同通信社

財務省

株式会社トンボ

アイルエンジニアリング株式会社

株式会社河村建設

ドゥカティジャパン株式会社

あさい内科医院

株式会社合田工務店

富士フィルムビジネスイノベーション株式会社

株式会社博報堂D Yホールディングス

国土交通省

独立行政法人自動車技術総合機構

日本歯科大学附属病院

はせべ歯科

株式会社エグゼック  
コアレックス三栄株式会社  
リコージャパン株式会社  
医療法人社団ユニメディコ  
公益財団法人東京都公園協会葛西臨海公園  
東急建設株式会社環境技術部  
東急建設株式会社技術研究所  
成城消防署  
東急電鉄株式会社  
日産工機株式会社

株式会社古田土経営  
極東開発工業株式会社  
凸版印刷株式会社  
ムーンクラフト株式会社  
株式会社伊和起ゲージ  
神奈川トヨタ自動車株式会社  
株式会社ティン  
大成建設株式会社  
清水建設株式会社  
海上自衛隊

## 同窓会ホームページの紹介

(<https://tcu-kasiwa.org/home/index.html>)

ホームページの主な掲載事項は、次の通りです。

- ・同窓会及び母校の主なイベント紹介
- ・ニュースリリース
- ・総会議案書の掲載（総会での承認事項掲載）
- ・機関誌「柏」の閲覧及びダウンロード
- ・同窓生が経営する飲食店の紹介
- ・ブログ

ブログに登録していただくと、ニュースリリース発行時にメールをお送りします。

なお、同窓会への各種お問い合わせや住所変更等のご連絡は、「お問い合わせ」からできますので活用をおねがいします。



同窓会では、母校の部活動支援としてステップアップ助成金制度を実施しています。  
今年度は自動車部及び高校軟式野球部に総額約52万円を助成しました。

## 同窓会のステップアップ助成金を活用して



自動車部顧問  
荒井 巖

自動車部は創部以来、燃費を競う競技（エコラン）に出場する競技車輛を製作し、大会でより良い燃費を記録することを目的に活動しています。創部当時は製作する車両も1台で、構造もシンプルでしたが、今や3台の車の製作を同時に進め、しかもそれぞれが高度に進化してきてきました。

こうした状況の中で、当然、運営費用は年々増加し、今年はずいに車両製作にかかわる費用（工具類を含め）が100万円を越えてしまいました。学校からの部費は24万円程度、年間1万円の部費を徴収しても40万円程度（ご家庭にはこれに加え、さらに遠征費など3万円程度のご負担があります）と、なかなか運営は厳しいものがあります。

そこで、この中の消耗品ではない工具類（溶接機、定盤、超音波洗浄機等）を中心に「ステップアップ助成金」を申請させていただきました。実は申請の段階では品目としてはさらに別の物を申請していたのですが、夏休みの最後に旋盤が壊れ、急遽新しい旋盤を購入せざるを得なくなるという不測の事態が発生しました。その際、同窓会の皆さんにご相談し、まだその時点で未購入の金額をそのまま旋盤代に充てさせていただけることとなり、本当に助かりました。

このような同窓会の皆様の温かい援助のおかげで、今年の大会の中学クラスで、これまでの歴代記録を大幅に更新し、1,176.494l m/lという輝かしい新記録を樹立するに至りました。



# 第50回総会報告

本議案書は、2025年5月10日(土) Web開催の総会で会員の承認を得た。

## 2024年度(2024年4月1日～2025年3月31日)活動報告

- 1.同窓会総会は、議案書をホームページに掲載し、Web開催して承認を得た。
- 2.会員の親睦を図るための懇親会を実施した。
- 3.年6回の理事会を開催した。
- 4.年1回(1月末)機関紙「柏」を発行した。(HPにも掲載)
- 5.母校の「柏苑祭」に参加した。
- 6.母校の「キャリアスタディ」に協力した。
- 7.在校生活動支援として、臨時に必要な経費の援助を行った。
- 8.勉強会は実施できなかった。
- 9.学校との連絡会を実施した。
- 10.保護者会会長及び副会長との懇談を実施した。

## 2024年度(2024年4月1日～2025年3月31日)決算報告

### 一般会計報告(収入の部)

| 科目       | 予算額       | 決算額       | 内容                     |
|----------|-----------|-----------|------------------------|
| 入金       | 2,290,000 | 2,360,000 | 71期生229名 既卒業生7名        |
| 引継金      | 5,012,254 | 5,012,254 | 前年度より                  |
| キャリアスタディ | 1,400,000 | 1,262,640 |                        |
| 雑収入      | 1,050,050 | 895,335   | 懇親会費口座からの繰入、利息(3,995円) |
| 合計       | 9,752,304 | 9,530,229 |                        |

### 一般会計報告(支出の部)

| 科目       | 予算額       | 決算額       | 内容                      |
|----------|-----------|-----------|-------------------------|
| 会議費      | 150,000   | 177,000   | 理事会、学校との打合せ、懇親会補助他      |
| 交通費      | 10,000    | 0         |                         |
| 総会費      | 10,000    | 1,530     | 懇親会宅配便等雑費(総会はWeb開催)     |
| 『柏』制作費   | 10,000    | 0         | 編集委員会                   |
| 通信費      | 30,000    | 21,770    | Web会議ツール他               |
| 印刷費      | 250,000   | 292,820   | 柏76号1,600部、規約250冊       |
| 事務費      | 60,000    | 93,317    | 銀行手数料他                  |
| 事務局活動費   | 24,000    | 24,000    |                         |
| 在校生支援費   | 500,000   | 612,922   | 軽音学部、硬式野球部、自動車部         |
| 委員会費     | 60,000    | 15,000    | 在校生支援委員会                |
| 名簿整備費    | 40,000    | 38,500    |                         |
| 柏苑祭費     | 30,000    | 415,875   |                         |
| HP維持費    | 80,000    | 203,940   | サーバー費、改修費               |
| 会員交流補助費  | 1,000,000 | 2,014,790 | 総会懇親会補助、案内状、記念品、アメフト部補助 |
| キャリアスタディ | 1,200,000 | 1,262,640 |                         |
| 基金へ繰入金   | 500,000   | 100,000   |                         |
| 予備費      | 500,000   | 0         |                         |
| 繰越金      | 5,298,304 | 4,256,125 |                         |
| 合計       | 9,752,304 | 9,530,229 |                         |

### 基金会計報告(収入の部)

| 科目  | 予算額       | 決算額       | 内容    |
|-----|-----------|-----------|-------|
| 繰入金 | 500,000   | 100,000   |       |
| 引継金 | 3,000,073 | 3,500,101 | 前年度より |
| 雑収入 | 25        | 1,647     | 預金利息  |
| 合計  | 3,500,098 | 3,601,748 |       |

### 基金会計報告(支出の部)

| 科目  | 予算額       | 決算額       | 内容 |
|-----|-----------|-----------|----|
| 取崩し | 0         | 0         |    |
| 繰越金 | 3,500,098 | 3,601,748 |    |
| 合計  | 3,500,098 | 3,601,748 |    |

上記の通り2024年度会計を報告いたします。

2025年4月1日 会計代行 佐々木 幹夫

### 会計監査報告

前記会計内容を監査の結果、正しく表示、記載してあることを認めます。

2025年4月6日 会計監査 長谷部 伸一

## 2025年度(2025年4月1日～2026年3月31日)活動計画

- 1.同窓会総会は、議案書をホームページに掲載し、Web開催して承認を得る。
- 2.会員の親睦を図るための懇親会を実施する。
- 3.年6回の理事会を開催する。(必要により、臨時理事会を開催する。)
- 4.年1回(1月末)機関紙「柏」を発行する。(HPにも掲載)
- 5.母校の「柏苑祭」に参加する。
- 6.母校の「キャリアスタディ」に協力する。
- 7.在校生活動支援として、臨時に必要な経費の援助を行う。
- 8.勉強会を実施する。
- 9.学校との連絡会を実施する。
- 10.保護者会との懇談を実施する。

## 2025年度(2025年4月1日～2026年3月31日)予算

### 一般会計(収入の部)

| 科目       | 予算額       | 内容                       |
|----------|-----------|--------------------------|
| 入金       | 2,240,000 | 72期生224名                 |
| 繰越金      | 4,256,125 | 前年度より                    |
| キャリアスタディ | 1,400,000 |                          |
| 雑収入      | 703,000   | 懇親会費(100人分)、預金利息(3,000円) |
| 合計       | 8,599,125 |                          |

### 一般会計(支出の部)

| 科目       | 予算額       | 内容                  |
|----------|-----------|---------------------|
| 会議費      | 180,000   | 学校との打合せ、理事会その他      |
| 交通費      | 10,000    |                     |
| 総会費      | 10,000    | 懇親会宅配便等雑費(総会はWeb開催) |
| 『柏』制作費   | 10,000    | 編集委員会               |
| 通信費      | 30,000    | Web会議ツール他           |
| 印刷費      | 250,000   | 柏78号1,650部、規約230冊他  |
| 事務費      | 100,000   | 銀行手数料他              |
| 事務局活動費   | 24,000    |                     |
| 在校生支援費   | 500,000   |                     |
| 委員会費     | 60,000    | 在校生支援委員会            |
| 名簿整備費    | 40,000    |                     |
| 柏苑祭費     | 300,000   |                     |
| HP維持費    | 100,000   | サーバー費等              |
| 会員交流補助費  | 1,600,000 | 総会懇親会費、案内状及び記念品     |
| キャリアスタディ | 1,400,000 |                     |
| 基金へ繰入金   | 100,000   |                     |
| 予備費      | 1,200,000 | メールシステム開発           |
| 繰越金      | 2,685,125 |                     |
| 合計       | 8,599,125 |                     |

### 基金会計(収入の部)

| 科目       | 予算額       | 内容    |
|----------|-----------|-------|
| 経常費から繰入金 | 100,000   |       |
| 引継金      | 3,601,748 | 前年度より |
| 雑収入      | 2,000     | 預金利息  |
| 合計       | 3,703,748 |       |

### 基金会計(支出の部)

| 科目   | 予算額       | 内容 |
|------|-----------|----|
| 取り崩し | 0         |    |
| 繰越金  | 3,703,748 |    |
| 合計   | 3,703,748 |    |

**理事:** 理事は、“東京都市大学附属中学校・高等学校同窓会規約”附属書に記載の“同窓会役員名簿”のとおり。(ホームページをご覧ください。)

\*同窓会ホームページ <http://tcu-kasiwa.org/home/index.html>



★2026年度の  
総会・懇親会案内

総会・日時: 2026年5月9日(土曜日) 10時～10時30分

場所: Web開催

懇親会・日時: 2026年5月23日(土曜日) 16時30分～(有料)

場所: 渋谷 エクセル東急ホテル 東京都渋谷区道玄坂1-12-2(渋谷マークシティ内)

# 《編集長雑感》

## きょうも柏の木の下で 2025

柏編集長 大高 慧史 (60期)

同窓会「むさこう・としこう」副会長の大高慧史です。

私は高校60期ですが、そもそも同窓会に私が係わったのは、成人の祝いを初めて同窓会のイベントとして企画した頃に当代が成人を迎えたことがきっかけでした。その幹事を務めてその後理事になった友人に誘われて、2016年の4月から理事を務める事になりました。

昨年度に行われた、30歳を祝う同期会では私が幹事を務めました。先に述べた成人の祝いは私の代から始まったものであり、思えば同窓会のイベントとして2度目の同期会を経験した恐らく最初の代となったことになり、感慨深く思っています。



私は以前から音楽鑑賞を趣味にしており、高校卒業後には、母校の吹奏楽部定期演奏会に、ほぼ毎年足を運んでいます。

演奏会のプログラムは、第1部が中学生、第2部が高校生の部員が

オーケストラの演奏をし、休憩の後は中高混合でのメンバー編成での演奏を行います。さらに、毎年アンコールの曲の合間に当代部長が来場者への挨拶を行うのが恒例となっています。

2024年度の演奏会での部長の挨拶では、2020年度に中学入学した自身の学校生活について次のように語りました。

\*

振り返ると、トシコーでの生活は、入学前に想像していたものとは全く違いました。入学直前に始まった、新型コロナウイルスの流行により、

- ・オンラインでの入学式
- ・例年より半年ほど遅れた、部活動の開始
- ・部活動の中でも屈指のイベントである、定期演奏会の中止

など、学校生活の様々な場面で制限が加えられる中で、考えた事がありました。

こうして皆さんに、直接演奏をお届けできること、そして日々みんなと楽しく部活が行えている事が決して当たり前では無いという事です。

部活のOB、顧問、保護者、全てのお客様、これら全ての方々の支えによって、一年間、当たり前のように部活動に励むことができました。

\*

部長の挨拶では日頃より携わっている方々への感謝を述べる事が多いのですが、2024年度は環境が大きく異なる中で過ごしていた実感が身に沁みる内容であり、私は非常に感銘を受けました。

末筆となりましたが、これからも会員の皆様の同窓会活動へのご協力を何卒よろしくお願い申し上げます。

### 柏苑祭スナップ



自動車部 OB 屋外展示



同窓会の部屋